

★ 遺伝子関連検査 ★

	項目	業務時間	検体の種類と量	採取容器添加物	臨床情報	検査所要時間	生物学的基準範囲	単位	測定方法	採血方法	検体搬送条件	検体受入不可基準	ラベル記載内容	追加検査可能条件	検体保管条件
1	WT1mRNA定量	8:30～16:00	全血 10mL (5mL×2本)	遺伝子検査(赤) (EDTA-2K)	—	1～3日 月・水・金に報告	<5.0X10*1	copies/ μgRNA	RT-リアルタイムPCR法	静脈採血	氷水中提出	—	WT1mRNA	追加検査は不可	保管不可 ※RNA抽出溶液は -80°Cで6ヶ月
2	呼吸器パネル (SARS-CoV2 含む)	8:30～16:00	鼻腔ぬぐい液	ウイルス輸送液	—	1～2時間 (ただし、検体数による)	検出せず	—	マルチプレックスPCR nested-PCR	後鼻腔擦過	採取後すぐに提出	スワブが入っていない	呼吸器パネル冷蔵	追加検査は不可	凍結で1週間
3	髄膜炎・脳炎パネル	8:30～16:00	髄液	滅菌スピッツ	—	0～1日	各細菌またはウイルス: 検出せず	—	マルチプレックスPCR nested-PCR	髄液穿刺	採取後すぐに提出	凍結された検体	髄膜炎パネル冷蔵	追加検査は不可	冷蔵で1週間保存
4	AmoyDx肺癌マルチ遺伝子PCRパネル	週に2度実施 (オーダー時) ・火～水 ・木～金	FFPE	該当なし	—	2～6日 水・金に報告	検出せず	—	マルチプレックスリアルタイムPCR	—	—	病理医の判断	AmoyDx	追加検査は不可	室温で半永久保管